

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	株式会社秋田キャッスルホテル
実習期間	平成 30 年 2 月 22 日 ～ 平成 30 年 2 月 26 日
学生氏名	山崎 怜
実習プログラム	<p>&lt;料飲、宴会課&gt;</p> <p>2 月 22 日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・宴会準備</li><li>・宴会運営（進行～片付け）</li></ul> <p>2 月 23 日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・宴会準備</li><li>・クローク作業</li><li>・宴会巡回</li></ul> <p>2 月 24 日(土)、25 日（日）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ダイニングレストラン 「ザ・キャッスル」</li><li>・椅子、机セッティング</li><li>・トレイ、グラスセッティング</li><li>・ランチタイム業務</li><li>・ディナータイム業務</li></ul> <p>&lt;企画、広報課&gt;</p> <p>2 月 26 日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・SNS を利用しての情報発信</li><li>・商品開発ミーティング</li><li>・SNS への投稿</li><li>・インターンシップ 5 日間を終えての総括</li></ul>
学び・気づき (300 字程度)	<p>秋田キャッスルホテル様でお世話になった 5 日間のうち、お客様の前での実習を 4 日間、宴会課と併設されたレストランの「ザ・キャッスル」でお世話になった。そこで、接客においては第一印象が大切だと言う話をしていただいた。実際に宴会の準備から体験させていただき、接客の難しさを改めて感じる事ができた。行った接客が正しいかどうかはお客様が決めるので、基本はあるが正解はないと話していただき、接客の深さも学ぶ事ができた。最終日である 5 日目は企画広報課でお世話になった。企画広報課は、実際にお客様の前に出る機会は少ないもののホテルを裏で支える重要な業務であった。ホテルの仕事は接客業だけでなく、たくさんの業務があって成り立っているものだと学んだ。</p>

<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>今回の秋田キャッスルホテル様で行ったインターンシップの実習内容として、お客様の前に実際に立たせていただく機会が多かった。その中で、自分自身の課題の一つとして、「経験」というものが足りないと痛感した。私自身、今までの学生生活で積極的な活動というものをあまりできていない場面が多かった。今回のインターンシップを通し、積極的に挑戦する事で新たな発見、学びが出来る事の面白さを 知ることが出来たので今後は積極的に色々な事に挑戦していくと言う事が私にとって今後の一番の課題だと言う事を知ることができた。</p>
<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>今回秋田キャッスルホテル様でのインターンシップを終え、ホテル業という職業の魅力を知る事が出来た。特に秋田キャッスルホテル様は、数多くの部門に別れ、それぞれ異なったジャンルの業務を行われていた。それぞれ重要な役割をもっており、秋田キャッスルホテルへより多くのお客様に訪れていただくと言った同じ目標をもったチームプレイを行っている事に魅力を感じた。そして、秋田キャッスルホテルスタッフの方々は自分の働いている企業に誇りをもって働かれており、働くと言う事を楽しんで行われている方ばかりで、スタッフの方々の働き方というものにも魅力を感じた。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	